

# 甲賀市の文化財③

## [古墳編]

### 甲賀の古墳文化

4世紀から7世紀頃まで大きな古墳が築かれた時代を古墳時代といいます。

市内には現在、県・市の指定を受けている古墳には、4古墳があります。

- ◆ 泉古墳群 [県指定]
- ◆ 波濤ヶ平古墳群 [市指定]
- ◆ 勅旨古墳群 [県指定]
- ◆ 岩室塚穴古墳 [市指定]
- ◆ ※塚穴古墳出土品 [市指定]

列島各地で大型古墳が築かれていく中で、市内には巨大古墳の築造は見られず、野洲川中流域の地域支配の中で、古墳時代中期に甲賀市を代表する古墳の一つである「泉古墳群」が築造されます。

泉古墳群は、大型の円墳、方墳を含む野洲川上流域の首長の墓で、帆立貝形の西鐘子塚古墳→円墳の東鐘子塚古墳→前方後円墳の塚越古墳の順に帆立貝式から円墳そして前方後円墳へと古墳の形を変えながら築造の系譜を知ることができる古墳群です。

なかでも塚越古墳は、5世紀中頃の築造で、銅鏡や金銅装甲冑などの



武器が出土していて、大和王朝と密接な関係を持つ地域の首長墓と考えられています。

古墳群東南部の植遺跡からは、5世紀中頃の大型倉庫群が発見され、古墳群との関わりが注目されています。

やがて、野洲川上流域には、後期に「岩室塚穴古墳」、杉谷古墳、波濤ヶ平古墳群が築かれ、野洲川と柚川の合流付近に広がる尾根上に一大群集墳地帯を形成します。百合野古墳群、岩塚古墳群、高山古墳群などです。

これらの古墳群は、野洲川周辺に広がる沖積平野を見据える位置にあり、河川交通などの適所を選んで築造されています。

大戸川流域では、2基から構成される「勅旨古墳群」が築造され、当地域の小さな古墳築造の動きが見られます。

これらの古墳の築造形式や出土品などから、地域の個性が見られ、地域の交通政策や大和政権下での軍事政策の上で一定の位置を占めていたことが窺えます。

【問い合わせ】  
文化財保護課  
☎ 86-88026  
FAX 86-83830

## みなくち 子どもの森 6月の自然 甲賀市の魚

メダカの群れ



カワバタモロコ

暑くなってきた、水が恋しくなる季節になりました。今月は、市内で見られる魚をいくつかご紹介しましょう。

【カワバタモロコ】は、水草の茂った平地の池や小川に棲んでいます。自然の豊かな小川や池が減り、この魚は非常に少なくなつてしまいました。ブルーギルやブラックバスが大敵で、体長は最大で5cmくらいです。

【ホトケドジョウ】は、きれいな冷たい水の流れる小川に棲んでいます。ドジョウにしては体が短く、ナマズとドジョウの間のような体系をしています。体長は最大5cmです。

ところで「滋賀県で大切にすべき野生生物2000年版」には、絶滅の危険性が高い生物の一覧が載っており、カワバタモロコは絶滅危惧種、ホトケドジョウは絶滅危惧増大種に指定されています。童謡「メダカの学校」でおなじみの【メダカ】も、絶滅危惧増大種に指定されています。

全国的には絶滅が心配されるほど数が減っている魚たちですが、市内では比較的よくみかけます。これは甲賀市内の自然が、この魚たちによくあっているからでしょう。これからも市内の自然環境を生き物の棲みやすさからも考えたいものです。

なお、ここで紹介した魚は、自然館内の水槽でご覧になることが出来ます。

みなくち子どもの森自然館  
☎ 63-6712  
FAX 63-0466



ホトケドジョウ

6月の休園日  
6(月)、13(月)、  
20(月)、27(月)